

		現在の取組及び状況		今後の改善計画・目標
			判定	
保育内容				
全体的な計画の作成				
1	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	保育の理念、基本方針、保育目標に基づいて全体的な計画を作成している。	A	保育の計画に基づく保育、保育の評価に基づく改善という一連の取り組みにより、保育の質の向上をはかるよう、全職員が共通理解を持って取り組んでいく。
環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開				
1	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	子どもが安全で安心して過ごせる環境を整備している。定期的に点検、清潔に保っている。	A	引き続き、保育室や園庭などの環境整備に取り組んでいく。
2	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	深い愛着関係を構築することを目指し、受容的、応答的な1対1の関わりを大切に保育を行っている。	A	今後も子どもが安定した気持ちで過ごせるよう、保育士が愛情豊かに関わる。
3	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	一人ひとりの発達状態に応じた援助を行い、子どもが自分でやろうとする気持を尊重しほめて認める保育を行っているが、移転後の環境の整備や保育士の位置等課題がある。	B	環境の整備、動線に合わせた保育士の位置等を職員間で確認していく。
4	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	子どもの興味や関心に応じた環境の設備をしている。友だちや保育士と一緒に元気に遊んでいる。	A	子どもがより主体的に遊べるように様々な遊びを用意したり、保育士の言葉かけの工夫をする。
5	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	一人ひとりの子どもの発達に沿った適切な環境を整備し、保育の内容も個別に配慮している。	A	子どもの興味や関心をより高めていけるよう適切な環境を整備し保育の内容や方法を常に考えていく。
6	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	一人ひとりの子供の状況に応じ、適切な環境を整備し、保育の内容も個別に配慮している。	A	子どもの自我の育ちを支えられるよう、適切な環境を整備し保育の内容や方法を常に考えていく。
7	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	利用時間の長い子には、1対1の関わりを大切に保育し、安心感を持たせている。	A	それぞれの子供の状況を職員全員でしっかりと把握する。
健康管理				
1	子どもの健康管理を適切に行っている。	毎日3回検温、体調の観察をしている。	A	引き続き子どもの健康管理を適切に行う。
2	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	健診等の結果や、一人ひとりの体質・健康状態の把握が職員に周知されている。	A	引き続き行う。
3	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	アレルギー対応マニュアルが整備されており、それに沿って適切に対応している。	B	アレルギー児への対応や配慮事項について研修に参加したり、勉強会を実施し全職員で共通理解していく。
食事				
1	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	野菜の収穫などの食育を通して楽しい雰囲気です。	A	クッキングや行事食を取り入れて季節の食事をみんなで一緒に楽しめるようにする。
2	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	調理員と保育士が話し合いをして一人ひとりの状態に応じた調理形態で給食を提供している。	A	引き続き衛生管理点検やアレルギー対応をして
子育て支援				
家庭との緊密な連携				
1	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	連絡帳や毎日の送迎時などに子どもの様子を伝え合っている。	A	今後も様々な機会を活用し、保護者と子供の成長を共有できるよう支援していく
保護者等の支援				
1	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	個人面談など保護者からの相談に常に応じ、それぞれの家庭との信頼関係を大事にしている	A	今後も一人ひとりの保護者の状況に応じた子育て支援を行っている。
2	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	虐待対応マニュアルを整備しており、それに沿って適切に対応を行っている。	A	子どもの心身の状態や保護者の養育状況を全職員で把握し、虐待等権利侵害の防止に努めていく。
保育の質の向上				
1	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	研修や保育会議を行い、保育の質の向上に努めている。	A	全職員がそれぞれに自己評価を行い保育の改善や専門性の向上に取り組んでいく